

事務事業評価シート(総括表)

事務事業	129	商店街にぎわい創出支援					
章	4	にぎわいと魅力あふれるまち					
大項目	03	魅力ある地域商店街づくり					
施策	02	魅力ある買物空間づくり					
事業内容							
目的	商店会が実施するイベント事業等を支援することにより、商店街への集客力の向上や地域コミュニティの強化を図るなど商店街の活性化を図り、にぎわいのある商店街をつくります。						
対象・手段	区内商店会が実施するイベント事業等に対して補助金を助成します。 (補助率：補助対象経費の2/3、補助限度額：200万円)						
成果(事業が意図する成果)							
<p>商店街イベント事業を支援することを通じて、地域のコミュニティや交流の場として、商店街のにぎわいや潤いが創出されます。</p> <p>また、商店会サポーター活動との連携によりイベント事業の効果を高め、商店街の売上増加や商店街のPRにつながります。</p>							
事業成果指標							
指標名	定義	目標水準					
補助事業実施数	当初予定された交付申請事業数からみた商店会が実施した事業数	( 毎 ) 年度に ( 申請予定件数 ) の水準達成					
補助事業実施効果度	商店会に対するアンケートで、「期待どおりの効果があった」及び「まあまあ効果があった」と回答を得た事業の割合	( 毎 ) 年度に ( 100% ) の水準達成					
新規来街者獲得度	商店会に対するアンケートで、「事業実施により新たに来街者を獲得した」と回答を得た事業の割合	( ) 年度に ( 100% ) の水準達成					
成果の達成状況							
	単 位	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	備 考	
事業成果指標	目標値 1	件	84.00	83.00	88.00	94.00	平成19年度から目標値を事業実施度に変更
	実績 1	件	80.00	82.00	82.00	87.00	
	= /	%	95.24	98.80	93.18	92.55	
	目標値 2	%	0.00	100.00	100.00	100.00	アンケートは平成17年度から実施
	実績 2	%	0.00	95.10	98.80	98.85	
	= /	%	0.00	95.10	98.80	98.85	
	目標値 3	%	0.00	0.00	0.00	100.00	
	実績 3	%	0.00	0.00	0.00	64.37	
	= /	%	0.00	0.00	0.00	64.37	
事業の実施内容							
平成18年度	商店街イベント事業補助金：実績件数 8 2 件						
平成19年度	商店街イベント事業補助金：実績件数 8 7 件						

部名称		地域文化部			課名称		産業振興課	
		単 位	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	備 考	
トータルコスト	事業費	千円	65,404	68,947	71,178	68,388		
	人件費	千円	0	0	19,240	19,181		
	事務費	千円	20	20	20	9		
	減価償却費等	千円	0	0	0	0		
	総計 = + + +	千円	65,424	68,967	90,438	87,578		
	受益者負担	千円	0	0	0	0		
	純計 = -	千円	65,424	68,967	90,438	87,578		
	受益者負担率 /	%	0.00	0.00	0.00	0.00		
財源内訳	一般財源 = -	千円	20,712	22,491	48,993	47,377		
	特定財源		44,712	46,476	41,445	40,201		
	一般財源投入率 /	%	31.66	32.61	54.17	54.10		
職員	常勤職員	人	0.00	0.00	2.00	2.00		
	非常勤職員		0.00	0.00	1.00	1.00		
<b>事業に関する検討課題</b>								
<p>商店会サポート事業等との連携により、区が支援するイベント事業が、来街者の継続的な増加や商店街の売上向上につながるよう、より効果的な支援を進めていくことが課題です。</p>								
評価基準に基づく評価と理由	達成度	2	商店会からの申請件数は増加傾向にありますが、ほぼ計画どおりに実施できました。(当初91事業のうち87事業実施)					
	実施の成果	3	事業実施後の商店会への事業効果アンケートで、「期待どおりの効果が得られた」との回答が87件中86件(98.85%)、「新たな来街者を獲得した」との回答が56件(64.37%)あり、商店街への集客力の向上など、事業実施による大きな成果が現れている。					
	効率性	3	商店会と地域住民とが一体となって、自主的に事業を企画し・実施することに対して、東京都と連携して支援を効率的に実施しています。					
	行政の関与	2	「魅力ある買物空間づくり」に向け、地域特性を活かした商店街の活性化を促すためには、商店街活動を支える地域コミュニティとの連携が重要となります。地域コミュニティを核としたこれらの取組みに、区の関与が必要であると言えます。					
	妥当性	3	区の支援は「魅力ある買物空間づくり」を促進し、商店街における地域コミュニティづくり等の社会的役割の機能を高めるための方法として妥当であり、事業の実施件数、効果度、新規来街者獲得度を目標達成の指標としたことは適正であると考えます。					
	施策寄与度	3	過去3年間で、実施事業のアンケートによると商店会から高い評価を得ています。イベントの実績により商店会活動の強化が図られ、地域コミュニティとの連携を深めるものとなっています。商店街活性化という施策目的達成に大いに寄与したと言えます。					
総合評価	19年度の評価はBです。その理由は、19年度の補助事業において、実施された87事業のうち56事業は、新たな来街者の獲得に効果を上げており、さらに87事業のうち8事業については商店会が新規に取組んだものであることから、区の支援により、商店街活性化に効果的であると考えられるからです。 また、過去3年間の評価もBです。その理由は、支援事業の数が年々増加していることと、いずれの年度も実施された事業の95%以上が期待通りの効果があったという商店会からの回答を得ているからです。これらのことから、商店街の集客力や商店街のもつ地域コミュニティ機能の向上に大きな効果を発揮したと考えられます。						B	
							過年度評価	
改革方針	今後も、商店会に対し、商店会サポーター活動との連携により、さらに集客力のあるイベントになるように取組みを促し、積極的に指導助言していく必要があることから、第一次実行計画「84商店街活性化支援」に引継ぎ、にぎわいある商店街づくりを進めていきます。 また、商店会への事業効果アンケートの項目を見直すことで、より事業の効果を上げるとともに、いくつかの商店街をモデルとして消費者アンケートを行い、商店会がより事業の効果を上げるよう促していきます。						方向性	
							5	
							統合	